



広報

# こしひがや

発行／越谷市 〒343 埼玉県越谷市越ヶ谷4丁目2番1号 ☎0489(64)2111 編集／企画部広報広聴課

あなたと市政を結ぶかけ橋 KOHO KOSHIGAYA

1.1

平成4年  
(1992年)

No.888

1月1日、15日

合併号

越谷市民憲章

市の木：ケヤキ 市の花：キク 市の鳥：シラコバト

わたくしたちは、越谷市民であることに誇りと責任を持ち、水と緑と太陽に恵まれた豊かなまちを築くため、限りない願いをこめて、ここに市民憲章を定めます。

- 教養を豊かにし、人間性あふれる文化のまちをつくります。
- きまりを守り、信じ合い、心豊かな明るいまちをつくります。
- 自然を愛し、お互いに助け合い、きれいなまちをつくります。
- 健康で楽しく働き、明るいスポーツのまちをつくります。



心の豊かさ  
感じますか。

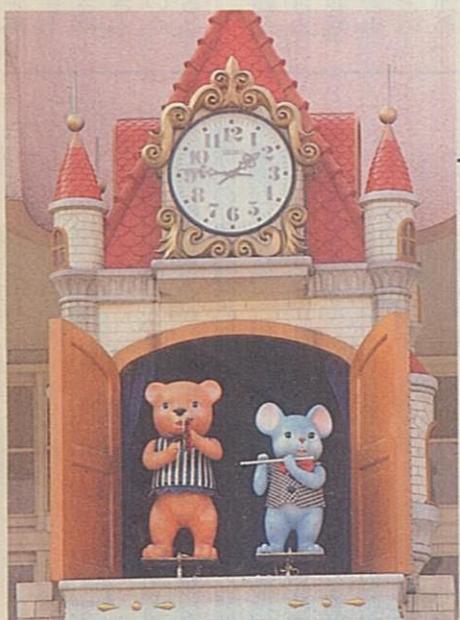
まちの表情が少しずつ変わつきました。越谷のまちに「ゆとり」が顔をのぞかせています。

昨年10月に花田苑が開園しました。都市の中の本格的な日本庭園とあって大勢の市民が訪れ伝統的な造りと風情をたんのうしています。伝統的文化に対する市民の関心の高さがうかがえます。

最近は物の豊かさと消費生活の充実で人々の関心が精神的、文化的な活動に変わりつつあります。能楽への関心も一つです。現在143人が市民能楽養成講座でけいこをつんでいます。一方、能楽の発表の場ともなる(仮称)日本文化伝承の館の建設が花田苑の隣接地で進んでいます。完成すると伝統的な芸能の殿場にもなります。

また、市役所前の越谷市中央市民会館は、今年4月に開館します。劇場やホール、和室、会議室などがたくさんあります。中央市民会館の完成で市の文化活動の拠点がまた一つ増えたことになります。

新しい都市の幕開けとともにすてきな文化のまちへの扉が開きます。



このからくり時計は、近所の子どもたちにも好評で、幼稚園の隣りにある南越谷第一公園で遊んでいる親子連れも、時間になると幼稚園の前まで来て、約3分間のショーやを楽しんでいます。

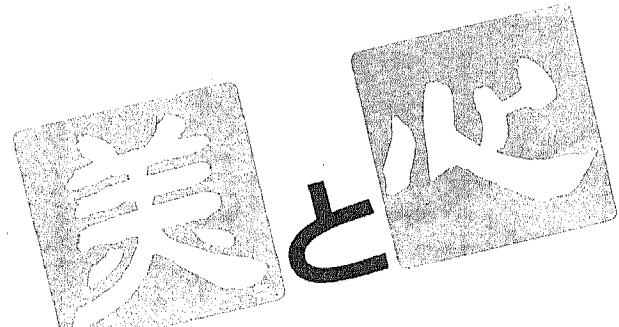
\*おことわり 本号は1月15日号との合併号となりますので、1月15日号はお休みです

夢と希望を与える時計  
幼稚園のからくり時計

まちかど  
ウォッチング  
TOWN WATCHING







# 果てしない夢を求めて、情熱を傾ける。越谷の夢追い人。



## 蝶を追い求めてジャングルへ 少年の日の夢を追い続ける

日が差し始めると、動物の鳴き声が響き渡り、蝶(ちょう)の活動が始まる。蝶を追いかけて、夕暮れに求めたのが18年前、1974年のこと。

「蝶がジャングルで乱舞するのを見ると、自分と蝶が同じジャングルで生きていたりを感じます。自然との一体感が好きなんですね」

蝶への魅力を感じ、採集を始めたのは、小学校4年生のとき。

「上級生の標本を見て、蝶の美しさ、鮮やかさに魅かれました。そして、久伊豆神社や東

前(さき)の軽い体操とジョギングで始まる、「スタートライン」に整列したときは、よし、やるぞ」と気持ちが高ぶり、ジーンとなる

ものがを感じます。反而練習したどおり走れるかと不安になり、走るかなど弱気になることも…。そんな緊張感を楽しんでいます」

スタートのときは、だれかが声をかけてくれても何も聞こえないほど緊張する。「走りだすと、落ち着いてきます。腕が震れ

竹でできた、簡単な構造の樂器。でも、その音色には人を魅了する響きがある。

「尺八の音は、フルートのような感じがしますね。でも、金属音ではなく、人の心を相互通感する不思議な響きがあります。この音色を聞いて、『ふるさと』を思い浮かべる人もたくさんいると思います」

民謡を習い始めてから、尺八と出会い、それが人生におけることが苦手でした。何か一つでも身につければ度胸がつくと思い、20歳のときのこととなる。

「最初は見よう見まねで尺八を作つてみましたが、音色は自分が考

えたいところから手先が器用で、細かい工作などが得意であった。尺八を作つてみた

た形はできただけですが、音色は自分が考

えたい作り始めました」

小さいころから手先が器用で、細かい工作などが得意であった。尺八を作つてみた

た形はできただけですが、音色は自分が考

えたい作り始めました」

まさに民謡を習うことにしました。民謡の伴奏

で尺八の音を耳にし、自分でも演奏してみた

いと思いました。尺八を吹くにつれて、自分

の思っている音色のできるものが欲しくなりま

す。でも、七節(しちせつ)きちんと見合ったものを

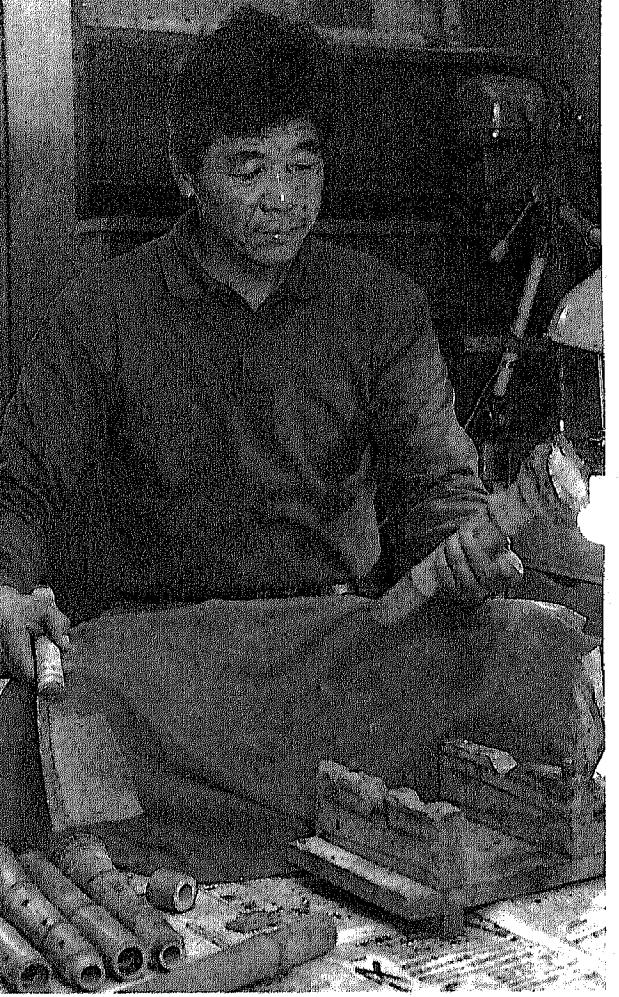
手に入れるのはたいへんなことです。福島や

栃木に材料を探しに行きましたが、これぞ思

うのがなかなか見つかりません。姿、形、そ

して美しい音色と、3拍子(さんぱいし)がそろったものを

作ることが夢ですね」



## いつまでもマラソンナンバー として走り続けます



前(さき)の軽い体操とジョギングで始まる、「スタートライン」に整列したときは、よし、やるぞ」と気持ちが高ぶり、ジーンとなる

ものがを感じます。反而練習したどおり走れるかと不安になり、走るかなど弱気になることも…。そんな緊張感を楽しんでいます」

スタートのときは、だれかが声をかけてくれても何も聞こえないほど緊張する。「走りだすと、落ち着いてきます。腕が震れ

てます」

「初マラソンは28歳のときです。どの大会も

走ってみるとまた走りたいと思つんます」

走り出るほど走っていますね。苦しくて、こんなことももうするもんかと思っていたのが、終

ります」

「女性らしく美しく走りたい」がモットー。

だからどのレースでもイヤリング(イヤホン)とネックレス(ネックレス)に付けて走ることをおそれない

い겠습니다。女性でもできるんだなあ」と感動しましたのがきっかけだという。

「初マラソンは28歳のときです。どの大会も

走り出るほど走っていますね。苦しくて、こんなことももうするもんかと思っていたのが、終

ります」

「女性らしく美しく走りたい」がモットー。</p

を傾ける。越谷の夢追い人。

だれもが心に夢を抱き、追い求める。

自分だけの音作りに励む中村さん。

女性らしく美しく走りたいと木谷さん。

未知の蝶との出会いを求める原田さん。

以上が本作の構成と、その解説である。



「いつまでも」「ワソシ」「ワソナ」として走り続けます

〔女子マラソン〕 水谷和子

水谷和子さ

思い出に残るものばかり…。中でも1988年の大阪国際女子マラソンで初めて3時間

彼女にとてマテソン競技は、「わたし一部」。母、妻そして主婦としてしっかりなしていきたいという。

「練習は一日20キロ、多いときで40キロ、  
に650キロも走ることがあります。子ども  
や主人が犠牲になってしまいますね。マラ  
ソンは、絶対一人ではできません。子どもと  
人の協力にいつも感謝しています」

「女性らしく美しく走りたい」がモットー。  
だからどのレースでもイヤリングと不ツク  
スを身につけて走ることを忘れない。

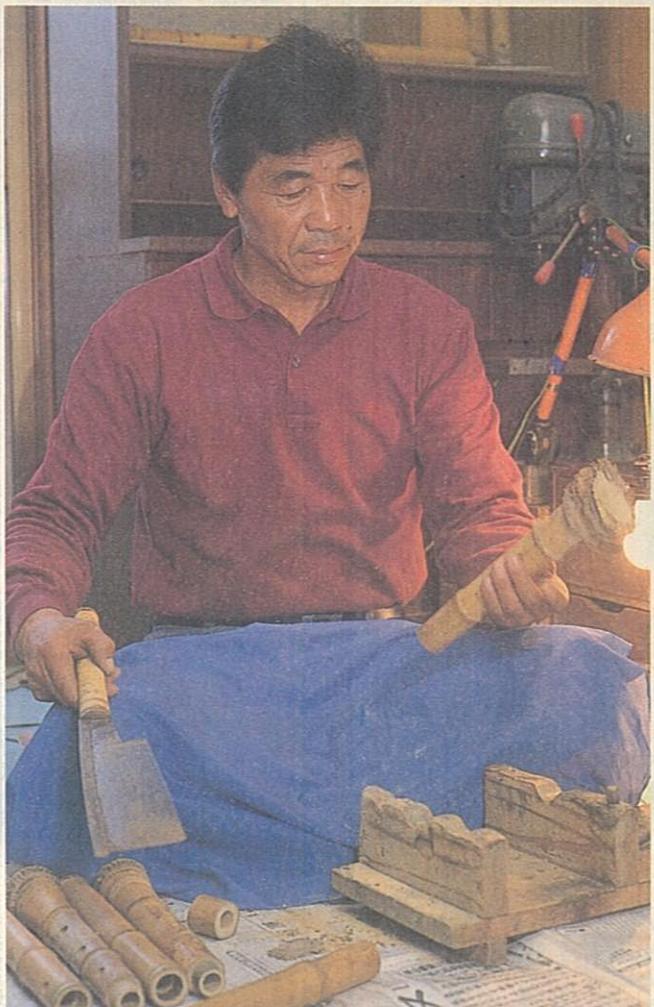
竹でできた、簡単な構造の楽器。でも、その音色には人を魅了する響きがある。「尺八の音は、フルートのような感じがしますね。でも、金属音ではなく、人の心を和ませる不思議な響きがあります。この音色を聞いて、『ふるさと』を思い浮かべる人もたくさんいると思います」民謡を習い始めてから、尺八と出会い、その後のこととなる。

「人前に出ることが苦手でした。何か一つでも身につければ度胸がつくと思い、20歳のとき

きに民謡を習うことにしました。民謡の伴奏で尺八の音を耳にし、自分で演奏してみたいと思いました。尺八を吹くにつれて、自分が思っている音色のできるものが欲しくなりました。いろいろ試しましたが、満足できるものはなかったですね。“それなら自分で”と思いつくり始めました

小さいところから手先が器用で、細かい工作などが得意であった。

「最初は見よう見まねで尺八を作つてみまつた。形はできたのですが、音色は自分が考ふる



ふるさとを思わせる昔色  
尺八作りが“生きがい”です

〔尺八作り〕 中村政夫

中村政夫さち

木関係の仕事を嘗んでいたので、なかなか尺八を作る時間がとれませんでした。でも、うしてもいい尺八を作りたかったので、3間毎晩、浅草の師匠のところに通いました特に調律の仕方を習つたんです」

「尺八には5年ぐらいの真竹が最適ですね。でも、七節がきちんと寸法に見合ったもの手に入れるのはたいへんなことです。福島柄木に材料を探しに行きますが、これぞとうのがなかなか見つかりません。姿、形、して美しい音色と、3拍子がそろつたもの作ることが夢ですね」

尺八作りを始めて20年余。年をとつてもきる趣味と考えた中村さん。自分の追い求める音色を出す尺八を作ることに熱中する。さしく、それは“生きがい”である。(は)

## 申(猿)のお話し

「光陰矢のごとし」と

みられる庚申塔（庚申の神様は青面

こども  
コ-ナ



A photograph of three brown, textured objects resembling small bags or pouches. Each object has a red, heart-shaped face with white eyes and a smiling mouth. They are arranged in a triangular formation against a blue background.

(現日枝神社)のお使い神ともいわれています。中国でも三藏法師といふ偉い僧に従い、悪魔を退治しながら天竺(チベット)に渡ったという孫悟空のお話がありますが、これは皆さんご存じの猿の化身です。また猿は人間に似て愛敬のある可愛い動物なので、昔から絵に画かれたり、彫刻に刻まれたりしてきました。

神社やお寺の境内や道端に数多く

(インド)の猿は悪者にされていますが、これらも愛敬のあらわれででしょう。

ところで十二支占いでは、申年生まれの人は直感力がするどく、才智に富んでいて、しかも思いやりがあるといふ反面、物事にあきやすく、そのくせ大きなことを言つたり、それをやろうとして憎まれたり、失敗したりすることが多いとあります。でもこうした性

しょう。申年生まれの人には、武将ぶじょうは豊臣秀吉、タレントでは萩野日洋の名前なまえがんばりやさしくわなまつらなどがあります。わたしたちもできるだけ頑張がんばつて、充実した一年を送りたいものですね。

タテのヒント

①意味をよくのみこむこと  
②埼玉県の花







